

JARL CONTEST REVIEW

6m AND Down Contest 6 - 7, July 2002

オープンは限定的，台風の影響が大きかった今年の 6m AND Down

JARL コンテスト委員会

波長 6m 以下のバンド (周波数では 50MHz 以上) が対象のコンテストである 6m AND Down コンテストが、7/6~7 の日程で開催されました。V/U/SHF の伝搬・設備構築は技術的興味に非常に溢れたものです。一時に多くの局が集中して QRV するコンテストは、これらのバンドで普段では味わえない QSO 数や伝搬ルート、設備の性能を確認できる格好の機会であると考えます。一方、伝搬がクリチカルなものであるがために、1日に満たない時間の中では、その時の天候やコンディションの影響により、十分な成果を味わえないことも間々あるものです。しかしながら(そうだからこそ)、ス

リリングな面白さがあり、突然コンディションが爆発した時の喜びは、何物にも代え難いものになるのではないと思う次第です。

さて、今年の 6m AND Down は、天候に左右された局が多かったようです。特に西日本を中心に台風の影響が多めで、QRV を断念された局や、移動して折角上げたアンテナを倒してしまった局などが多かったようです。悪天を押しつけて QRV に TRY された各局は大変お疲れさまでした。また、人間は自然の前には無力でもありますので、安全を考慮し、断念~撤退をされた方も、正しい判断であったものと思います。

今年は台風の影響もあり、特に

九州~西日本の QRV が少なかつたのではないかと、夜の 50MHz の状況を見て感じました。コンディションにもよりますが、1エリアからは西日本からのフワフワとした入感で 50MHz は夜間に局数マルチが稼げるのですが、今年は今ひとつ伸びなかったように感じました。50,144MHz の FAI もありましたが、手ごたえは今一歩でした。50MHz での大きな E スポは、8時台と 12時過ぎから発生したようです。144MHz の伸びも 1エリアからは中四国がやっとでした。

430MHz はコンディションの影響が大きく、遠距離交信は難しかったようで、マルチ数は伸び悩

んだようです。SHF は雨や霧の影響を受け、また、受風面積の大きいパラボラは大変だったことと思います。

V/U/SHF は、グラウンドウェーブでの QSO が大半を占めることから、標高のある場所への移動運用が一般的には有利になります。一方固定局では、日頃からの伝搬ルートの把握やクリチカルな設備が使用できることから、特にマルチ面で有利になることがあります。それぞれに楽しみ方の広がりがありますので、是非みなさんに QSY up を呼びかけたいと思います。

また、V/UHF は比較的簡単な設備でも十分楽しめますので、コ

ンテストの入門としても最適です。是非ローカルや知り合いに紹介し、引き込んで(?)いただけることを期待します。

ドナー盾

今回のコンテストでは、下記方にドナー楯が贈られました(カッコ内ドナー)。

- 電話部門シングルオペ・オールバンド 4 アマ埼玉 1 位 JH1CRL (JO1GJB)
- 電話部門シングルオペ・ニューカマー種目全国 1 位 7N4ONG (7N4JZK)
- 電話部門シングルオペ・ニ

ューカマー移動局全国 1 位 7N4LVW/1 (アウトドア・JG1KTC)

- 電信部門シングルオペ・50MHz バンド種目全国 1 位 JK2EIJ/2 (JH1ACI)
- 電信電話部門シングルオペ・50MHz バンド種目全国 1 位 JH7PKU/1 (Japan DX Association)
- 電信部門シングルオペ・オールバンド種目九州 1 位 (150QSO 以上) 該当局なしのため次年度へ繰り越し (JJ6TWQ)